

JBマーク・認定書・試験成績書
明示・使用
ガイドライン作成について

 **JB10001-2017**

業務委員会

JBマーク策定時の参照制度

1.3. NF マーク

NF マークは、次の見本に適合する NF モノグラムによって具現化されている。



製品、包装並びに技術文書及び商業文書に対するマーキングの条件は、第 2 部の中で定められている。

NF マークの図形規定は、申し込み次第、LNE から入手することができる。

マーキング規定の目的は、NF マークの規則及び要件をどのように満たすかについて、所有者を指導することである。NF マークの一般規定は、使用条件、妥当性確認条件、及び NF マークの不正使用の際の処罰を定めている。

NF マーク一般規定の中で規定されている制裁措置に影響を与えることなく、所有者は、認証を受けた機能の間違った発表及び NF ロゴの不正使用について、詐欺及び／又は虚偽誇大広告で提訴される。

1.4. 認証製品

認証製品のリストは、ウェブサイト (www.lne.fr) の表題“認証”，“認証企業／製品”，“LNE が発行した製品証明書”の項で、証明書検索エンジンを用いて入手することができる。

LNE は、要請あり次第、所与の証明書の有効性についての情報を提供することができる。



全国貨物自動車運送適正化事業実施機関である公益社団法人全日本トラック協会は、トラック運送事業者の交通安全対策などへの事業所単位での取り組みを評価し、一定の基準をクリアした事業所を認定する貨物自動車運送事業安全性評価事業を実施しています。

この貨物自動車運送事業安全性評価事業は、利用者がより安全性の高い事業者を選びやすくするとともに、事業者全体の安全性の向上に対する意識を高めるための環境整備を図るため、事業者の安全性を正当に評価し、認定し、公表する制度です。

平成 30 年 12 月 13 日現在、安全性優良事業所は 25、343 事業所あり、これは全事業所数の 29.6% にあたります。

2019年11月29日現在、全国で1,924事業者が認定を受けています。
全国に広がるセーフティバスをぜひご利用下さい。

※本制度は安全性に対する取組状況等を評価・認定する制度であり、事故が発生しないことを保証するものではありませんのでご了承ください。

認定を受けた事業者の貨切バス車両には「SAFETY BUS」のステッカーを貼り付けしています。



2019年度新規認定事業者一覧
(2019年9月17日)

全認定事業者一覧


認定取消・降格のお知らせ

本編 P11

1.7 JB マーク

JB マークとは、JB のロゴと規格番号との「組ロゴ」によって明示化・具現化されるものである。



 JB20001-2017

製品、包装並びに技術文書及びビジネス文書での使用ルールは、第 2 章の中で規定する。

JB マークの図形規定は、認証を受けた後、アルコール検知器協議会から入手することができる。

マーキング表示・使用にあたっては、以下に留意すること。

I 日本国内の表示関連の基本法令やガイドライン

◆消費者庁

<http://www.caa.go.jp/representation/index4.html>

◆不当景品類及び不当表示防止法（景品表示法）

http://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/fair_labeling/index.html#pamphlet

II アルコール検知器協議会 競争法等に関わるコンプライアンス規定

III 検定制度における個別罰則ルール

製造事業者/製造販売事業者は、JB マークホルダーである限り、その製品の適合性に対し、単独の責任がある。

アルコール検知器協議会および外部機関は、製造事業者の責任に取って代わり、罰則の対象や、訴訟の当事者等になることはできない。

本編 P18

2.7 マーキングに関する要件


2.7.1 一般要件

本検定における認定機器事業者は、JB ロゴのある製品のマーキングに責任を持たねばならない。アルコール検知器協議会および認定事業者は、消費者・購入者・使用者への明示性および不利益回避・保護を確実なものとし、会員内外によるマークの無許可使用、マークの偽造がなきよう協力しあって保護に努めなければならない。アルコール検知器協議会の事前許可なきマーク・ロゴの複製及び表示は固く禁じられる。

2.7.2 製品でのマーク使用

JB マークは、技術規格の番号および、認証取得の時期の情報と一対で表示されなければならない。



 JB20001-2017

2.7.3 文書でのマーク使用

認定機器事業者は、認定製品とそれ以外の製品との混同を避けるために、広告用パンフレット、カタログ、その他公的な文書において、認定機器であることや JB マークが付与されていることを明確かつ十分に明示・説明しなければならない。ただし、認定機器への JB マークの付与は任意とする。

認定機器事業者は、JB マークを付けた広告用パンフレット、カタログ等、販売関連文書を使用する際には、事前にアルコール検知器協議会に提出すること。

認定機器事業者は、アルコール検知器協議会からの要請があり次第、文書内で直接的又は間接的に JB マークへの言及がなされている文書を送付しなければならない。

認定番号とメーカー・機種

CERI試験完了

申請管理表 (技術委員会・審査会)

認定機器(外部検定)一覧

(2019年11月19日時点で「認定機器」として合格しているのは、6団体、19機種となります。)



(株)タニタ「アルプロ FC-900」

認定番号：JB10001-1

測定が少ないユーザーに最適なシンプルモデルです。『レンタルシステム』により、点検や支払の煩わしい管理を簡略化、さらに低コストを実現しました。高精度・高品質なアルコール検知器を手軽に導入することができます。

> 詳しくはこちら



(株)タニタ「アルプロ FC-1000/1000D」

認定番号：JB10001-2/JB10001-3

設置型・単独型・携帯型の3WAYモデルです。管理ソフトやスマートフォン・タブレットと合わせて使用すれば、外出先からの遠隔測定に携帯型としても活用できるのが特徴。業務形態の変化にもフレキシブルに対応できます。

> 詳しくはこちら



(株)タニタ「アルプロ FC-1008D」

認定番号：JB10001-4

設置型・単独型・携帯型の3WAYモデルです。管理ソフトやスマートフォン・タブレットと合わせて使用すれば、外出先からの遠隔測定に携帯型としても活用できるのが特徴。業務形態の変化にもフレキシブルに対応できます。



(株)タニタ「アルプロ FC-1200/FC-1200F」

認定番号：JB10001-5/JB10001-6

設置型でも単独でも使える汎用高性能モデルです。センサー寿命もロングライフで高いコストパフォーマンスを実現し、特に設置管理拠点多く、測定回数が多い事業者様向け。サーマルプリンター出力など多彩なニーズにお応えします。

認定合格証

アルコール検知器検定制度

(J-BAC JB00001-2017)

〇〇〇株式会社

製品名 XXXX

認定番号 XXXXXXX

技術規格番号 JB10001-2017

アルコール検知器検定制度JB00001-2017に従い、上記製品が認定合格品であることを証明します。

2019年8月1日
アルコール検知器協議会

アルコール検知器協議会
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONSORTIUM


ウェブ掲載依頼書



(株)タニタ「アルプロ FC-900」
認定番号：JB10001-1

測定できないローダーに最適なシンパシモデルです。「シンパシシステム」により、正確で安定した計測を実現しました。環境等、高品質なアルコーン検知機を準拠に導入することが可能です。


[> 詳しくはこちら](#)



(株)タニタ「アルプロ FC-1000D」
認定番号：JB10001-4

設置型・直立式・携帯型の3WAYモデルです。管理ソフトやスマートフォンのタブレットと合わせて使用するほか、外出先からの遠隔測定機能としても活用できるのが特徴。業務利便性の向上にもフレキシブルに対応できます。


[> 詳しくはこちら](#)



東海電子(株)「ALC-PRO II T-ALC-P200」
認定番号：JB10001-7

一般企業や運輸企業の出発管理向けに特化した、アルコーン検知システムです。検察官付き測定結果・測定前後の動画が1年以上記録されます。不正防止機能が充実した、機能を多岐にわたる、検察官・監査官との連携、IT連携、拡張性に優れた入門機です。

[> 詳しくはこちら](#)



フィヨロ技術(株)「フーゴプロ FALC-11」
認定番号：JB10001-9

運輸業務管理に最適な機能を搭載したアルコーン検知機です。検察官検定型、遠隔地監視型が選べ、かつ、企業内のPC管理ソフトで検定結果を一元管理することが可能です。


[> 詳しくはこちら](#)



(株)バイアル「アルキラーPlan」
認定番号：JB10001-11

iOS・Android対応のスマートフォン搭載型アルコーン検知システム。シンパシ検体とコンパクト・スリム設計！出張先での検定も簡単！検定結果が検定機でいつでも確認できる！(検定機)の検定結果を、検定機・検定結果管理と不正防止に活用できます。

[> 詳しくはこちら](#)



中央自動車工業(株)「ソシエック アルファノクスT SC-403」
認定番号：JB10001-13

業界初の「ハイブリッドセンサー」を採用したハイグレードな検知機です。アルコーンが検定機を高精度に検知した時、充電電圧も使用可能な電力供給。充電方法も「直挿」「マウスピース」「ストロー」を選択でき、さらに測定結果も10秒で検定可能です。


[> 詳しくはこちら](#)



(株)タニタ「アルプロ FC-1000/1000D」
認定番号：JB10001-2/JB10001-3

設置型・直立式・携帯型の3WAYモデルです。管理ソフトやスマートフォンのタブレットと合わせて使用するほか、外出先からの遠隔測定機能としても活用できるのが特徴。業務利便性の向上にもフレキシブルに対応できます。


[> 詳しくはこちら](#)



(株)タニタ「アルプロ FC-1200/FC-1200F」
認定番号：JB10001-5/JB10001-6

設置型でも遠隔でも使える汎用検知機モデルです。センサー搭載のスマートフォンとタブレット・スマートフォンを連携し、特に設置管理機能が充実し、測定精度が非常に高い。スマートプリンター出力など多岐にわたる機能に対応します。


[> 詳しくはこちら](#)



(株)バイアル「アルキラーW」
認定番号：JB10001-8

アルキラーPlusに日本製検定センサーを搭載した電気化検定検知機が登場！スマートフォン搭載型アルコーン検知システム「いつでもどこでも検知したいのか」をwebで確認し、検定管理と不正防止に活用できます。

[> 詳しくはこちら](#)



サンコーテクノ(株)「多機能業務用アルコーン検知器 ST-3000」
認定番号：JB10001-10

検定機センサー「燃料電池式センサー」を搭載。まずは、検定機本体から導入し、PC管理でもGuardian NEXT及びIT連携システムGuardian NETまでシステムアップをすることが可能です。お客様の様々なシーンで活用できる検知機です。

[> 詳しくはこちら](#)



中央自動車工業(株)「ソシエック アルファ SC-402」
認定番号：JB10001-12

業界初の「ハイブリッドセンサー」を採用したハイグレードな検知機です。アルコーンが検定機を高精度に検知した時、充電電圧も使用可能な電力供給。充電方法も「直挿」「マウスピース」「ストロー」を選択できます。


[> 詳しくはこちら](#)



(株)タニタ「EA-100」
認定番号：JB10001-14

センサーチップを持ち上げて電源ON。息を吹きかけるだけで簡単に呼気アルコーン検定が可能です。携帯に便利で、マイクシャックの接続ポートにも対応しています。


[> 詳しくはこちら](#)



東海電子(株)「ALC-miniIV T-ALC-MiniIV」
認定番号：JB10001-15

運輸業及び一般企業向けに特化した、IC検知リーダーおよびプリンターを一体化したアルコーン検知機です。IC検知機をそのままに測定が開始され、記録測定と検知は検知機の有効範囲を越えなくても可能です。日時や測定結果、有効記録は検知機に記録され、また結果はUSBに保存することも可能です。

[> 詳しくはこちら](#)



中央自動車工業(株)「ソシエック SC-103」
認定番号：JB10001-19

スタンダードな自己管理型パーソナルタイプです。シンパシで検定し、SOCACシリーズは検定アルコーン検知機として、検定に特化した、多くの場合、官公庁・企業等で採用されているタイプです。

[> 詳しくはこちら](#)



中央自動車工業(株)「ソシエック エクス SC-302」
認定番号：JB10001-21

遠隔検定管理の運用管理に特化したデータ管理型の業務用アルコーン検知機です。SOCACシリーズの実績、品質・信頼性・使いやすさをベースに開発。検定機としての持ち出し用として、状況に合わせて使い方が可能です。

[> 詳しくはこちら](#)



東海電子(株)「ALC-Mobile II T-ALC-MB200」
認定番号：JB10001-16

一般企業や運輸企業に特化した、アルコーン検知機です。スマートフォンと連携することで、遠隔での検定、検定結果や検定機の状態を確認することが可能です。遠隔検定では遠隔地ドライバーとの検定検定も多く使われ、一般企業では、車検出動等の確認でも使われています。

[> 詳しくはこちら](#)



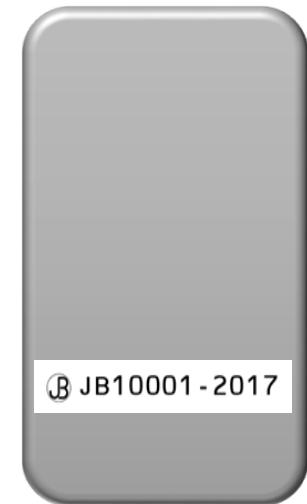
中央自動車工業(株)「ソシエック エクス SC-202」
認定番号：JB10001-20

自己管理型パーソナルタイプにアーム機能やエラー表示など、さらに使いやすさ機能が加わったグレードアップタイプです。

[> 詳しくはこちら](#)

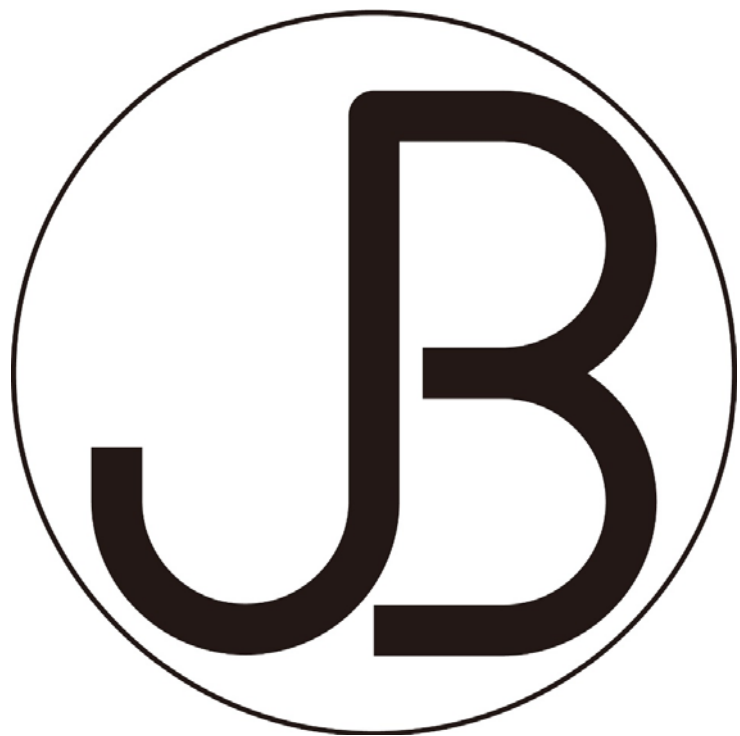
現在、19機種

検定品である、ことの表明方法



自社のウェブサイトでの使用・手持ちの使用・カタログでの使用・現物明示

縦組みと横組みがある
(直径3mmのものと、5mmのもの)

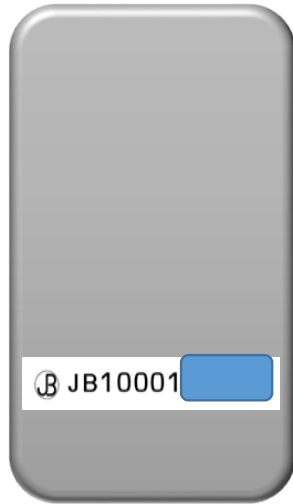


 JB10001-2017


JB10001-2017

✓ 本日の確認
認定番号or 規格番号？

確認



 JB10001-2017

 JB10001-25



規格番号？ or 認定番号？

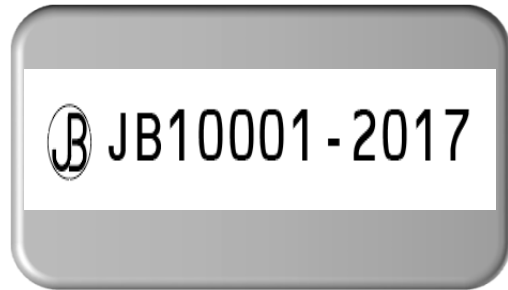
P18

「マークは、技術規格の番号および、認証取得の時期の情報と一対で表示されなければならない」

整理すると。

適合性証明書類	発行元 (委託先)	個人情報	公表	使用ルール	利用ガイド
試験報告書 	CERI	あり	△	『この試験成績書を転載するときは事前に 本機構の承認を受けてください』	
認定書 	J-BAC	なし	可	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ハードコピーの使用：○ ✓ カタログに明示：○（大きさ？） ✓ 現物：×？ 	ガイドライン 必要かも ★
JBマーク  JB10001-2017	J-BAC	なし	可	JB00001-2017 P11,P18	

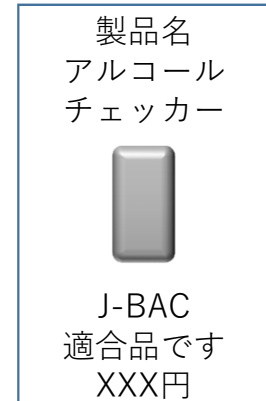
アリ？ ナシ？



カタログ裏



カタログ表



ウェブサイトでの大きさ



Google で検索するか、URL を入力してください

本製品アルコールチェッカーXXX は、J-BAC適合品です。



ガイドライン策定にあたって (会員向けFAQ程度になるかもしれないが)

- ✓現状、JB00001-2017本編のマーク制度は、
「認定機器事業者は、JBマークを付けた広告用パンフレット、カタログ等、販売関連文書を使用する際には、**事前にアルコール検知器協議会に提出すること**」となっている。
- ✓提出は、どこに？
- ✓OKかNGかは、誰が、何を根拠に判断する？